

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅳ		必修	2	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	木曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅲ」で積み重ねてきた心理学を中心とした心と脳の働きに関する知識をさらに深め総括するとともに、人間社会の現象に関する諸問題について、客観的な視点から工夫を凝らして説明する姿勢をもって、多様な関係性に対応できる技術を修得することを目的とする。</p> <p><概要> 課題を実施し個人やグループで発表、かつ全員で討議やグループワークを行う。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中およびオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学等の諸問題について現状を把握し、分析、考察ができる。			HSU(1)、心(1)、(2)	
②	心理学等の専門的知識を生かし、自ら発見した人間社会の問題点についてその解決策を説明・提案できる。			心(1)、(2)	
③	多様な関係性について理解し、実際の場面で活かすことができる技術を身につける。			心(1)、(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅲ」の総括及び「福祉心理学専門演習Ⅳ」の学習目標について共有、発表会を行う。	演習	互いに質疑応答を行う。以後の課題準備に入る。		2
2	キャリア心理学(7)自己表現や情報提示の技術について学ぶ①	講義・演習	自己表現及び情報提示の技術に関する発表の準備を行う。		3
3	キャリア心理学(8)自己表現や情報提示の技術について学ぶ②	講義・演習			3
4	キャリア心理学(9)自己表現や情報提示の技術について学ぶ③	講義・演習			3
5	キャリア心理学(10)自己表現や情報提示の技術について学ぶ④	講義・演習			3
6	キャリア心理学(11)自己表現及び情報提示の技術について発表会を行う。	演習	自己表現及び情報提示の技術に関する発表予行を行う。以後の課題準備に入る。		5
7	人間社会の理解(10)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討①	講義・演習	人間社会で起きている心理学的な問題の発見及びそれに対する自己のかかわり方に関する発表及び討論に向け準備を行う。		5
8	人間社会の理解(11)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討②	講義・演習			5
9	人間社会の理解(12)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討③	講義・演習			5
10	人間社会の理解(13)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討④	講義・演習			5
11	人間社会の理解(14)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討⑤ 発表会と討論①	演習	人間社会で起きている心理学的な問題の発見及びそれに対する自己のかかわり方に関する発表予行を行い、発表後に担任教員から指導を受ける。		5
12	人間社会の理解(15)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討⑥ 発表会と討論②	演習			5
13	人間社会の理解(16)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討⑦ 発表会と討論③	演習			5
14	人間社会の理解(17)人間社会で起きている現象に対する自己のかかわり方の検討⑧ 発表と討論①～③の振り返りを行う。	講義・演習	発表及び討論を振り返り内容について各自で整理する。		3
15	「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」を振り返り、全体を考察する。	講義・演習	これまでの学修内容を担任教員とまとめ上げる。		3
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	60	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	25	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	5	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	2種の発表会において、求められる課題テーマに応じて、現代社会の諸問題に関する心理学的知識を踏まえた上で、自ら発見・思考した内容をコミュニケーション豊かに表現する発表となっているか、その内容や技術などについて総合的に評価する。				発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	発表会の準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組み、各ゼミ内における発表予行でも必要十分なグループ検討への参画を担える積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。				毎回授業時に個々にコメントを加えた上で、次回までの改善点を指示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、宇賀 美奈子、高田 毅、柗木 隆寿</p> <p>Teams の各クラスで諸事の連絡を行いますので必ず確認を怠らないこと。また、全 15 回が登校授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがあります。その場合、授業は欠席として取り扱います。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p>							